(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第5269193号
(P5269193)
(45)発行日　平成25年8月21日(2013.8.21)　(24)登録日　平成25年5月17日(2013.5.17)

(51)Int.Cl.　F I
A62B 18/08 (2006.01)　A62B 18/08 D

請求項の数 22　(全 18 頁)

(21)出願番号	特願2011-513847(P2011-513847)
(86)(22)出願日	平成21年6月9日(2009.6.9)
(65)公表番号	特表2011-525126(P2011-525126A)
(43)公表日	平成23年9月15日(2011.9.15)
(86)国際出願番号	PCT/CN2009/000638
(87)国際公開番号	WO2010/000129
(87)国際公開日	平成22年1月7日(2010.1.7)
審査請求日	平成22年12月21日(2010.12.21)
(31)優先権主張番号	200820116487.X
(32)優先日	平成20年6月30日(2008.6.30)
(33)優先権主張国	中国(CN)

(73)特許権者　510336428
林淨植
台湾桃園縣大溪鎮齊明街２７－１號２樓
(74)代理人　110001151
あいわ特許業務法人
(72)発明者　林淨植
台湾桃園縣大溪鎮齊明街２７－１號２樓

審査官　鹿角　剛二

最終頁に続く

(54)【発明の名称】全被覆式抗菌フード

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
全被覆式抗菌マスクにおいて、
フードであって、着用口、少なくとも一つの密封口、及び取付け口を包含し、該密封口は溶接状態とされ、該フードは該取付け口のある一面に透明部を有する、上記フードと、
立体式マスクであって、該取付け口に取付けられ、該立体式マスクの辺縁と該取付け口は溶接状態とされ、該立体式マスクに少なくとも一つのバンドが設けられ、該バンドは該フードの外側に位置する、上記立体式マスクと、
を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項２】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの別面に少なくとも一つの固定部が設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項３】
請求項２記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部がフックとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項４】
請求項３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部の材料が硬性材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項５】
請求項４記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該硬性材料がプラスチック或いは金属と

されたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項６】
請求項３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部の材料がアルミニウム、鉄或いはその他の弾性材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項７】
請求項２記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部は、
一端が該フードに固定され、別端に係合部が設置された固定帯と、
該係合部と接合される留め具と、
を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項８】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードはさらに、
該着用口に隣接する肩保護部を包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項９】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの両側にそれぞれ内折り辺が設けられ、該フードが張り開かれた後に、該フードの上部に平面を形成することを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１０】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの上部に支持構造が設けられ、該支持構造が該フードの上部を支持することを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１１】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドの一端が該立体式マスクの一側に設けられ、別端が該立体式マスクの別側に設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１２】
請求項１１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドが締めつけ用バンドとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１３】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドが、
該立体式マスクの一側に設けられた第１バンドと、
該立体式マスクの別側に設けられた第２バンドと、
を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１４】
請求項１３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１バンドと該第２バンドが、雄型面ファスナーと雌型面ファスナーとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１５】
請求項１４記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１バンドと該第２バンドが、雄型留め具を具えたバンドと雌型留め具を具えたバンドとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１６】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの材質が透明プラスチックフィルムとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１７】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードが第１材料片と第２材料片を包含し、該取付け口は該第１材料片に設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１８】
請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１材料片が透明プラスチックフィルムとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項１９】
請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第２材料片が吸湿排汗材料或いは濾過能力を有する通気材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。

【請求項２０】
請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１材料片の両側に第１折り辺が設けられ、該第２材料片の両側に第２折り辺が設けられ、該第１材料片の該第１折り辺がそれぞれ該第２材料片の第２折り辺に接合され、該第１材料片の該第１折り辺と該第２材料片の第２折り辺の接合部分が該密封口とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項２１】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該立体式マスクが、
該立体式マスクの辺縁に位置し、並びに該取付け口と接合される接合部、
を包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【請求項２２】
請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードが、
該フードの該着用口の両側にそれぞれ設けられたショルダーバンドを包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスク。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、一種の抗菌マスクに係り、特に一種の全被覆式抗菌マスクに関する。
【背景技術】
【０００２】
現在市場には多種類の全被覆式抗菌マスクがあり、たとえば図１及び図２に示されるように、該全被覆式抗菌マスク１’はフード１０’と濾過部１２’を包含し、一部の全被覆式抗菌マスク１’の該濾過部１２’は、濾缶を具えたマスクを使用し（図１に示されるとおり）、且つそのフード１０’の材料は、防火材料が使用され、これにより該全被覆式抗菌マスク１’の製造コストは高くなりすぎ、一度使用して捨てることができず、次にこの全被覆式抗菌マスク１’を使用する時には、まず全被覆式抗菌マスク１’をクリーニングしなければならず、手間と時間が必要であった。
【０００３】
また、該全被覆式抗菌マスク１’の該濾過部１２’は平面型の濾過シート或いはマスクを使用し（図２に示されるとおり）、図１の全被覆式抗菌マスク１’の濾過部１２’を改良して、全体の製造コストを下げることができるとはいえ、平面型の濾過シート或いはマスクを使用する欠点は、該濾過シート或いはマスクが使用者の口と鼻に接近しすぎるため、使用者が呼吸する時、その空気流通空間が小さすぎ、該全被覆式抗菌マスク１’内に湿気による曇りを発生し、並びに使用者の視界の不良をもたらすことにある。
【０００４】
且つ現在の全被覆式抗菌マスク１’の接合部分は縫製により密接に接合されるが、外部の細菌或いはウイルスは縫い目の間隙から進入するおそれがあり、ゆえに、現在の全被覆式抗菌マスク１’は防煙及び防塵にしか使用できない。
【０００５】
しかし、大部分の全被覆式抗菌マスク１’の着用口には収縮部１０３’が設けられ、該収縮部１０３’は使用者の着用の不便を形成し、使用者が該全被覆式抗菌マスク１’を使用する時、使用者の頸部は該収縮部１０３’の材質と緊張状態により不快感を感じることがある。また、該濾過部１２’にはバンド１２１’が設けられ（図２のとおり）、使用者が該全被覆式抗菌マスク１’を使用する時、該バンド１２１’は使用者の頭部後方で結ばれ、該全被覆式抗菌マスク１’を固定することができる。しかし、ある時間がたつと、該バンド１２１’は使用者の頭の形に沿ってスライドし、全被覆式抗菌マスク１’を移動させ、これにより全被覆式抗菌マスク１’が完全には使用者の口と鼻を被覆できなくなり、このために細菌及びウイルスが該全被覆式抗菌マスク１’に進入して、使用者の健康に危害を及ぼし得る。
【０００６】
大部分の全被覆式抗菌マスク１’は透明ではないため、該フード１０’にウインドウ１

０１’を開設する必要がある。しかし、該ウインドウ１０１’が小さすぎると、使用者の視界に影響を与え、使用者に危険を及ぼし得る。

【０００７】

上述の周知の技術は防煙の機能しか達成できず、且つ該全被覆式抗菌マスク内には使用者の呼吸により大量の湿気による曇りが発生し、使用者の視界不良或いはその他の問題をもたらし得る。上述の問題を鑑み、本発明は一種の全被覆式抗菌マスクを提供し、それは良好な抗菌作用を有し、並びに有効に使用者が呼吸により発生する湿気による曇りの状況を減らし、且つ製造コストが低く、そのために該全被覆式抗菌マスクを使い捨てできるものとする。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００８】

本発明の目的の一つは、一種の全被覆式抗菌マスクを提供することにあり、それは、価格が便宜な材料と簡単な組立過程を使用することで、製造コストを下げ、製造コストが低いことにより、使い捨て可能で、細菌及びウイルスの該全被覆式抗菌マスクへの残留を防止し、使用者が該全被覆式抗菌マスクを再使用することで細菌及びウイルスに感染するのを防止するものとする。

【０００９】

本発明の目的の一つは、一種の全被覆式抗菌マスクを提供することにあり、該全被覆式抗菌マスクの接合部分は熱圧溶接され、外部の細菌及びウイルスが接合部分より進入できず、良好な抗菌効果を達成できるものとする。

【００１０】

本発明の目的の一つは、一種の全被覆式抗菌マスクを提供することにあり、それは立体式マスクが組み合わされ、使用者が呼吸により湿気による曇りを発生する状況を減らすものとする。

【課題を解決するための手段】

【００１１】

請求項１の発明は、全被覆式抗菌マスクにおいて、

フードであって、着用口、少なくとも一つの密封口、及び取付け口を包含し、該密封口は溶接状態とされ、該フードは該取付け口のある一面に透明部を有する、上記フードと、

、

立体式マスクであって、該取付け口に取付けられ、該立体式マスクの辺縁と該取付け口は溶接状態とされ、該立体式マスクに少なくとも一つのバンドが設けられ、該バンドは該フードの外側に位置する、上記立体式マスクと、

を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項２の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの別面に少なくとも一つの固定部が設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項３の発明は、請求項２記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部がフックとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項４の発明は、請求項３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部の材料が硬性材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項５の発明は、請求項４記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該硬性材料がプラスチック或いは金属とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項６の発明は、請求項３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部の材料がアルミニウム、鉄或いはその他の弾性材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項７の発明は、請求項２記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該固定部は、

一端が該フードに固定され、別端に係合部が設置された固定帯と、

該係合部と接合される留め具と、

を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

請求項８の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードはさらに、
該着用口に隣接する肩保護部を包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項９の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの両側にそれぞれ内折り辺が設けられ、該フードが張り開かれた後に、該フードの上部に平面を形成することを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１０の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの上部に支持構造が設けられ、該支持構造が該フードの上部を支持することを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１１の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドの一端が該立体式マスクの一側に設けられ、別端が該立体式マスクの別側に設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１２の発明は、請求項１１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドが締めつけ用バンドとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１３の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該バンドが、
該立体式マスクの一側に設けられた第１バンドと、
該立体式マスクの別側に設けられた第２バンドと、
を包含したことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１４の発明は、請求項１３記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１バンドと該第２バンドが、雄型面ファスナーと雌型面ファスナーとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１５の発明は、請求項１４記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１バンドと該第２バンドが、雄型留め具を具えたバンドと雌型留め具を具えたバンドとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１６の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードの材質が透明プラスチックフィルムとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１７の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードが第１材料片と第２材料片を包含し、該取付け口は該第１材料片に設けられたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１８の発明は、請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１材料片が透明プラスチックフィルムとされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項１９の発明は、請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第２材料片が吸湿排汗材料或いは濾過能力を有する通気材料とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項２０の発明は、請求項１７記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該第１材料片の両側に第１折り辺が設けられ、該第２材料片の両側に第２折り辺が設けられ、該第１材料片の該第１折り辺がそれぞれ該第２材料片の第２折り辺に接合され、該第１材料片の該第１折り辺と該第２材料片の第２折り辺の接合部分が該密封口とされたことを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項２１の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該立体式マスクが、
該立体式マスクの辺縁に位置し、並びに該取付け口と接合される接合部、
を包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。
請求項２２の発明は、請求項１記載の全被覆式抗菌マスクにおいて、該フードが、
該フードの該着用口の両側にそれぞれ設けられたショルダーバンドを包含することを特徴とする、全被覆式抗菌マスクとしている。

【発明の効果】

【００１２】

本発明の提供する全被覆式抗菌マスクは使い捨て式の抗菌マスクであり、並びに良好な抗菌効果を達成し、且つ有効に使用者が呼吸の湿気による曇りを発生する状況を減らす。

【００１３】
この効果を達成するために、本発明の全被覆式抗菌マスクは以下のような特徴を有している。
【００１４】
一．該全被覆式抗菌マスクに使用される材料は簡単で、組立過程が簡単で、製造コストが低い。
【００１５】
二．該フードは該着用口以外の、取付け口と立体式マスクの接合部分或いはその他の接合部分が、高周波或いは超音波で熱圧溶接され、これにより使用者がが全被覆式抗菌マスクを着用するとき、外部の細菌及びウイルスが該全被覆式抗菌マスクに進入して使用者の健康に危害を及ぼすのを防止できる。
【００１６】
三．立体式マスクを使用することで、使用者の呼吸の流通空間が大きく、使用者が該全被覆式抗菌マスクを使用する時に呼吸の湿気により曇りを発生する状況が減少される。
【００１７】
四．該フードに該固定部が設けられ、該固定部により該フードと該立体式マスクが固定され、該立体式マスクが完全に使用者の口鼻を被覆し、該フードの移動が防止され、該立体式マスクの移動による外部細菌及びウイルスの該全被覆式抗菌マスクへの進入を防止できる。
【００１８】
五．該フードに二つの折り辺が設けられ、該フードの張り開いた体積が大きくなり、これにより該フードが使用者の顔部に貼りつきにくく、使用者が該全被覆式抗菌マスクを使用する時の、呼吸の湿気による曇りを発生する状況を減らせる。このほか、該フードの張り開いた体積を維持し該フードの着用に便利とするため、該フードの上部に支持構造が設けられる。
【００１９】
六．該フードの材質は、透明プラスチック膜或いは吸湿排汗材料で構成され、該フードの材料が透明プラスチック膜とされる時、該フードの材質は不通気であり、フードを長時間使用すると、該フードに使用者の呼吸の湿気による曇りが発生しやすい。ゆえに、本発明の該フードは透明プラスチック膜と吸湿排汗材料で構成し、該フードの一面は透明プラスチック膜として、使用者の視線がクリアとなるようにし、該フードの別面は吸湿排汗材料とし、該フードが通気するようにし、使用者が該全被覆式抗菌マスクを着用する時に湿気による曇りを発生する状況を減らしている。
【００２０】
総合すると、本発明は新規性、進歩性及び産業上の利用価値を有し、特許の要件を有している。
【図面の簡単な説明】
【００２１】
【図１】周知の全被覆式抗菌マスクの立体外観図である。
【図２】周知の別の全被覆式抗菌マスクの立体外観図である。
【図３Ａ】本発明の好ましい実施例の立体外観図である。
【図３Ｂ】本発明の好ましい実施例の使用状態表示図である。
【図４Ａ】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図４Ｂ】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図５】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図６Ａ】本発明の別の好ましい実施例の使用状態表示図である。
【図６Ｂ】本発明の別の好ましい実施例の局部拡大図である。
【図７Ａ】本発明の別の好ましい実施例の使用状態表示図である。
【図７Ｂ】本発明の別の好ましい実施例の局部拡大図である。
【図８】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。

【図９Ａ】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図９Ｂ】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図１０】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図１１】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図１２】本発明の別の好ましい実施例の使用状態表示図である。
【図１３】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図１４】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【図１５】本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。
【発明を実施するための最良の形態】
【００２２】
上述の目的を達成するため、本発明は一種の全被覆式抗菌マスクを提供し、該全被覆式抗菌マスクはフードと立体式マスクを包含し、該フードは着用口、取付け口及び少なくとも一つの密封口を包含し、該立体式マスクは、該取付け口に取付けられ、該密封口と該立体式マスクと該取付け口の接合部分は熱圧溶接状態とされ、該立体式マスクは少なくとも一つのバンドが設置され、該バンドにより該立体式マスク及び該フードが固定される。
【００２３】
本発明の技術内容、構造特徴、達成する目的を詳細に説明するため、以下に実施例を挙げ並びに図面を組み合わせて説明する。
【００２４】
図３Ａを参照されたい。それは本発明の好ましい実施例の立体外観図である。図示されるように、本実施例は一種の全被覆式抗菌マスクを提供し、該全被覆式抗菌マスク１は、フード１０と立体式マスク１２を包含する。
【００２５】
該フード１０は、着用口１０１、取付け口１０３及び少なくとも一つの密封口１０５を包含する。該着用口１０１及び該取付け口１０３を除き、該フード１０に位置する少なくとも一つの開口はいずれも該密封口１０５とされ、該密封口１０５は高周波或いは超音波を使用して熱圧溶接され、該密封口１０５が密封される。
【００２６】
該立体式マスク１２は該取付け口１０３に取付けられ、該立体式マスク１２は接合部１２１を包含し、該接合部１２１は該立体式マスク１２の辺縁に設けられ、該接合部１２１と該取付け口１０３の辺縁は高周波或いは超音波を利用して熱圧溶接されて、該立体式マスク１２と該取付け口１０３が密接に結合される。
【００２７】
該フード１０の該密封口１０５が熱圧溶接されるほか、任意の該フード１０との接合部分はいずれも熱圧溶接され、こうして該全被覆式抗菌マスク１の外部の細菌及びウイルスが該フード１０に進入不能とされて、有効に該全被覆式抗菌マスク１の抗菌効果がアップされる。
【００２８】
また、本実施例が該立体式マスクを使用する主要な原因は、もし、該全被覆式抗菌マスク１に平面マスクを使用すると、使用者が該全被覆式抗菌マスク１を使用する時、該平面マスクが使用者の口鼻に接近しすぎ、このため該全被覆式抗菌マスク１が大量の湿気による曇りを発生し、使用者が使用する時の視界不良をもたらすためである。ゆえに本実施例は該立体式マスク１２を使用することで、有効に使用者が該全被覆式抗菌マスク１を使用する時に湿気による曇りを発生する状況を減らす。
【００２９】
該立体式マスク１２には少なくとも一つのバンド１２３が設けられ、該バンド１２３は該フード１０の外部において、並びに着用口１０１と平行に、該フード１０を固定し、並びに該立体式マスク１２に完全に使用者の口鼻を被覆させる。
【００３０】
該フード１０に設けられた該着用口１０１は透明部１０６を具え、使用者が該全被覆式

抗菌マスク１を使用する時、使用者は依然として周囲の環境を見ることができ、該透明部の面積は該着用口１０１が設けられたフード１０の一面全部の面積とされるか、該透明部１０６の面積は使用者の必要により調整され得る。

【００３１】

図３Ｂを参照されたい。それは本発明の好ましい実施例の使用状態表示図である。図示されるように、使用者が該全被覆式抗菌マスク１を着用する時、使用者の頭部は、該着用口１０１より該フード１０に挿入され、続いて、該立体式マスク１２の該取付け口１０３が該使用者の口鼻にアラインされ、これにより立体式マスク１２が完全に該使用者の口鼻を被覆するものとされ、該立体式マスク１２が該全被覆式抗菌マスク１外の空気を濾過することにより、有毒ガス、細菌及びウイルスが使用者の口鼻に進入するのを防止できる。

【００３２】

該立体式マスク１２が完全に使用者の口鼻を被覆したことが確定した後、該立体式マスク１２の該バンド１２３を使用者を頭部に嵌合するか或いは使用者の頭部後方の適当な位置で結び、これにより該フード１０を固定し、該フード１０のスライドを防止し、該立体式マスク１２が該フード１０に伴い移動して完全に使用者の口鼻を被覆できなくなるのを防止する。

【００３３】

図４Ａを参照されたい。それは本発明の好ましい実施例の別の立体外観図である。図示されるように、図１Ａの実施例を受けて、該バンド１２３は締めつけバンドとされ、該バンド１２３の一端は該立体式マスク１２の一側に固定され、該バンド１２３の別端は該立体式マスク１２の別側に固定されている。

【００３４】

使用者が該全被覆式抗菌マスク１を着用する時、該バンド１２３は使用者の頭部前方より使用者の頭部後方に引っ張られた後、使用者の頭部に嵌合され、こうして該立体式マスク１２及び該フード１０が固定される。

【００３５】

図４Ｂも併せて参照されたい。それは本発明の好ましい実施例の別の立体外観図である。図示されるように図４Ａの実施例を受けて、該立体式マスク１２には２本のバンド１２３が設けられ、こうして平均して立体式マスク１２の四つの角部に施力し、確実に該立体式マスク１２により使用者の口鼻を保護できるようにしている。

【００３６】

図５を参照されたい。それは本発明の好ましい実施例の別の立体外観図である。図示されるように、図１Ａの実施例を受けて、該バンド１２３は、第１バンド１２３１と第２バンド１２３３を包含する。該第１バンド１２３１は該立体式マスク１２の一側に設けられ、該第２バンド１２３３は該立体式マスク１２の別側に設けられる。

【００３７】

使用者が全被覆式抗菌マスク１を着用する時、該第１バンド１２３１と該第２バンド１２３３はそれぞれ使用者の頭部前方より使用者の頭部後方に引っ張られ、並びに該第１バンド１２３１と該第２バンド１２３３が接続されて、該立体式マスク１２及び該フード１０が固定される。

【００３８】

そのうち、該第１バンド１２３１と該第２バンド１２３３はそれぞれ雄型留め具と雌型留め具を有するか、雄型面ファスナーと雌型面ファスナーとされる。本実施例も図４Ｂと同様に２本のバンド１２３を具備し得るが、これについては重複した説明は行わない。

【００３９】

図６Ａを参照されたい。それは本発明の別の実施例の使用状態表示図である。図示されるように、本実施例の全被覆式抗菌マスク１と図３Ａの実施例の全被覆式抗菌マスクの異なるところは、該フード１０の、該取付け口１０３が設けられていない一面に、固定部１０７が設けられ、該固定部１０７が該立体式マスク１２を取り付ける該取付け口１０３に対応し、図２Ａ中より分かるように、使用者が該全被覆式抗菌マスク１を頭上に着用する

時、該バンド１２３は使用者の頭の形に沿って下にスライドし、ゆえに、該固定部１０７の最良の位置は使用者の頭部下方であり、こうして該フード１０を固定し、該フード１０の移動により該立体式マスク１２が完全には使用者の口鼻を被覆できなくなることのを防止する。本実施例が２本のバンド１２３を有する時は、該固定部１０７の数量も二つに増加可能であり、これによりそれぞれ対応する該バンド１２３を固定するが、これについては重複した説明は行わない。

【００４０】

該固定部１０７はフックとされ得て、該バンド１２３を該固定部１０７に係止でき、該固定部１０７の材質はプラスチック或いは金属の硬性材料とされるか、アルミ片、鉄片のような変形しにくく弾性を有する材料とされる。

【００４１】

該固定部１０７の材料が硬性材料とされる時、該固定部１０７の形状はU型とされて、該バンド１２３が該固定部１０７を脱出するのを防止するため、該固定部１０７の開口は漸次縮小され、該バンド１２３が該固定部１０７より滑り出るのが防止される。

【００４２】

図６Ｂも併せて参照されたい。それは本発明の別の好ましい実施例の局部拡大図である。図示されるように、該固定部１０７の材料が弾性材料とされる時、該固定部１０７の形状はU型とされ、該バンド１２３が該固定部１０７に係止され、続いて該固定部１０７が該フード方向に押され、該バンド１２３が固定される。

【００４３】

図７Ａと図７Ｂを参照されたい。それは本発明の別の好ましい実施例の使用状態表示図と本発明の別の好ましい実施例の局部拡大図である。図示されるように、図６Ａと図６Ｂの固定部１０７の材料は長期使用の後、亀裂或いは変形を発生し得て、そのため該バンド１２３が固定部１０７を脱出し得る。これにより本発明の提供する該固定部１０７は、固定帯１０７１と留め具１０７３を包含する。

【００４４】

該固定帯１０７１の一端は該フード１０に設けられ、該固定帯１０７１の別端に該留め具１０７３と対応する係合部１０７５が設けられ、該固定帯１０７１が該バンド１２３に繞設され、該固定帯１０７１の該係合部１０７５と該留め具１０７３が接合され、これにより該バンド１２３が移動して該固定部１０７を離れることがないようにしている。

【００４５】

図８を参照されたい。それは本発明の別の実施例の構造表示図である。図示されるように、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１の、図３Ａの実施例の提供する全被覆式抗菌マスクとの異なるところは、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１は、図１Ａの実施例の提供する全被覆式抗菌マスクより保護範囲が大きいことである。図１Ａの実施例の提供する全被覆式抗菌マスクはただ使用者の頭部を保護するだけであるが、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１は使用者の肩まで保護できる。

【００４６】

該全被覆式抗菌マスク１は、フード１０と立体式マスク１２を包含する。該フード１０は着用口１０１、取付け口１０３、少なくとも一つの密封口１０５及び肩保護部１０９を包含する。該立体式マスク１２は該取付け口１０３に取付けられ、該立体式マスク１２にはバンド１２３が設けられ、該肩保護部１０９と該着用口１０１は隣接し、使用者が全被覆式抗菌マスク１を着用する時、該肩保護部１０９は使用者の肩を保護し、使用者はさらに防護服を着用し、該防護服は該全被覆式抗菌マスク１の該肩保護部１０９上を被覆し、これにより細菌及びウイルスの該全被覆式抗菌マスク１への進入を防止する。

【００４７】

図９Ａ及び図９Ｂを参照されたい。それは本発明の別の実施例の立体外観図及び本発明の別の実施例の外観図である。図示されるように、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１の、図３Ａの実施例の提供する全被覆式抗菌マスクの異なるところは、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１を張り広げた体積は、図３Ａの実施例の提供する全被覆式抗

菌マスクを張り広げた体積よりも大きいことである。

【００４８】

該フード１０の両側にはそれぞれ内折り辺１００が設けられ、使用者が該全被覆式抗菌マスク１を着用する時、該フード１０に二つの該内折り辺１００が設置されているため、該フード１０が張り広げられるとき、該フード１０の上部に平面が形成され、これにより、該フード１０の張り広げられた後の体積は大きくなり、使用者は容易に着用でき、且つ使用者が該全被覆式抗菌マスク１を使用するときに、呼吸による湿気で曇りを発生しにくい。

【００４９】

図１０を参照されたい。それは本発明の別の実施例の立体外観図である。図示されるように、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１の、図９Ａに示される実施例の提供する全被覆式抗菌マスクの異なるところは、該フード１０の上部に支持構造１０２が設けられていることにある。

【００５０】

該支持構造１０２の材料はアルミ片のような変形しにくく弾性を有する材料とされ、使用者が該フード１０を張り広げて着用するのに便利で、該フード１０の頂部は該支持構造１０２により平面状態に保持される。本実施例の該支持構造１０２は図１Ａの実施例に応用可能であるが、重複した説明は行わない。

【００５１】

図１１を参照されたい。それは本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。図示されるように、図１０の実施例を受け、該支持構造１０２の材料は雨傘のフレームのような硬性材質とされ得て、これにより該フード１０の上部は該支持構造１０２により平面状態に保持される。

【００５２】

図１２を参照されたい。それは本発明の別の好ましい実施例の使用状態表示図である。図示されるように、図３Ａの実施例を受け、該フード１０はさらに二つのショルダーバンド１０４を包含する。該二つのショルダーバンド１０４はそれぞれ該フード１０の該着用口１０１の両側に設けられ、使用者が本実施例の全被覆式抗菌マスク１を着用するとき、使用者の手部がそれぞれショルダーバンド１０４に通され、該全被覆式抗菌マスク１が固定される。

【００５３】

図１３は本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。上述の図１Ａから図１１の実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１の該フード１０は同一材料とされ、使用者が該全被覆式抗菌マスク１を使用するときに、明かに周囲環境が見えるようにするため、該フード１０の該取付け口１０３を具えた一面は透明とされ、また、該フード１０は同一材料とされなければならないため、該フード１０の全体は透明とされ、該フード１０の材料は透明プラスチックフィルムとされるが、該フード１０の材質は不通気であり、該全被覆式抗菌マスク１が長時間使用されるとき、使用者の呼吸により湿気による曇りを発生し、使用者の視界不良をもたらす。

【００５４】

本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１と上述の実施例が提供する全被覆式抗菌マスクの異なるところは、該フード１０が二種類の材料で構成されているところである。該フード１０は第１材料片１０Ａと第２材料片１０Ｂを包含する。該第１材料片１０Ａは透明プラスチックフィルムとされ、並びに該取付け口１０３に設けられ、該立体式マスク１２は該取付け口１０３に取付けられる。該第２材料片１０Ｂは吸湿排汗材料或いは濾過能力を有する通気材料とされ、これにより使用者が本発明の全被覆式抗菌マスク１を着用するとき、蒸し暑さ或いはその他の不快な感覚を発生しない。

【００５５】

該第１材料片１０Ａと該第２材料片１０Ｂの接合は、一つの開口が保留されて該着用口１０１とされ、その他の開口はいずれも密封口１０５とされ、こうして使用者が該全被覆

式抗菌マスク１を着用するときに、呼吸による湿気が曇りを発生するのを減らすことができる。本実施例は上述の実施例に応用可能であるが、重複した説明は行わない。

【００５６】

図１４は本発明の別の実施例の立体外観図である。本実施例の提供する該フード１０と図１２の実施例の提供するフード１０の異なるところは、該第１材料片１０Ａの両側に折り辺１００Ａが設けられ、該第２材料片１０Ｂの両側にもそれぞれ折り辺１００Ｂが設けられていることである。

【００５７】

該第１材料片１０Ａの二つの折り辺１００Ａと該第２材料片１０Ｂの二つの折り辺１００Ｂは接合され、並びに該着用口１０１とされる一つの開口を保留し、その他の開口は該密封口１０５とされ、こうして、該フード１０にこれら折り辺１００Ａ、１００Ｂが設けられたことにより、該フード１０が張り開かれるとき、その上部に平面が形成され、これにより該フード１０の張り開かれたときの体積が増加し、ゆえに、本実施例の提供する該フード１０は、図１２の実施例の提供する該フードに較べて、湿気による曇りを発生する状況をさらに減らすことができる。本実施例は上述の実施例に応用できるが、重複した説明は行わない。

【００５８】

図１５は本発明の別の好ましい実施例の立体外観図である。図示されるように、本実施例の提供する全被覆式抗菌マスク１は、フード１０と立体式マスク１２を包含する。該フード１０は着用口１０１、取付け口１０３及び少なくとも一つの密封口１０５を包含する。本実施例の、図３Ａの実施例と異なるところは、該フード１０に設けられた該取付け口１０３が透明部を有することである。

【００５９】

使用者が該全被覆式抗菌マスク１を使用するとき、使用者は依然として周囲環境を明かに見ることができるが、該透明部１０６の面積は、該着用口１０１が設けられたフード１０の一面の半分の面積とされる。

【００６０】

なお、以上述べたことは、本発明の実施例にすぎず、本発明の実施の範囲を限定するものではなく、本発明の特許請求の範囲に基づきなし得る同等の変化と修飾は、いずれも本発明の権利のカバーする範囲内に属するものとする。

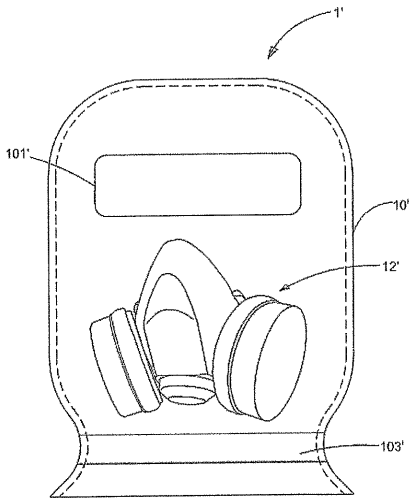
【符号の説明】

【００６１】

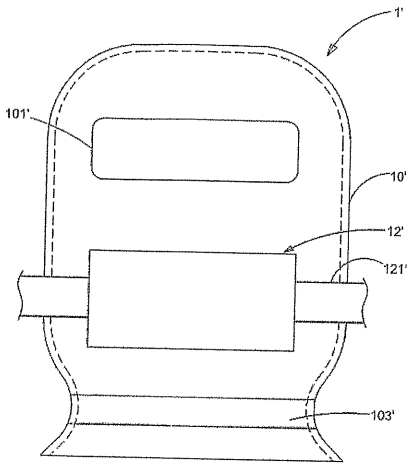
１’　全被覆式抗菌マスク
１０’　フード
１０１’　ウインドウ
１０３’　収縮部
１２’　濾過部
１２１’　バンド
１　全被覆式抗菌マスク
１０　フード
１０Ａ　第１材料片
１０Ｂ　第２材料片
１００　内折り辺
１００Ａ　第１折り片
１００Ｂ　第２折り片
１０１　着用口
１０２　支持構造
１０３　取付け口
１０４　ショルダーバンド
１０５　密封口

１０６　透明部
１０７　固定部
１０７１　固定帯
１０７３　留め具
１０７５　係合部
１０９　肩保護部
１２　立体式マスク
１２１　接合部
１２３　バンド
１２３１　第１バンド
１２３３　第２バンド

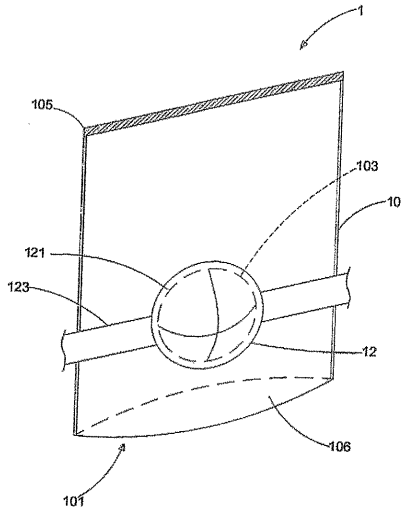
【図１】



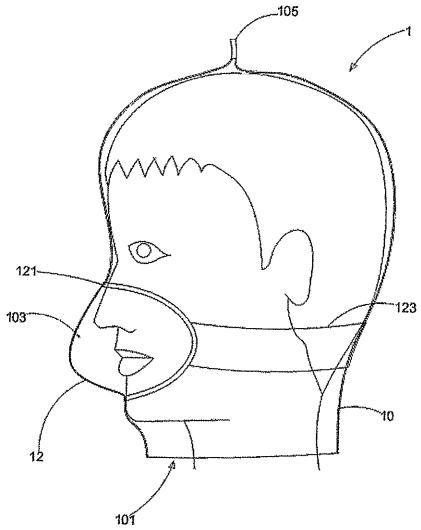
【図２】



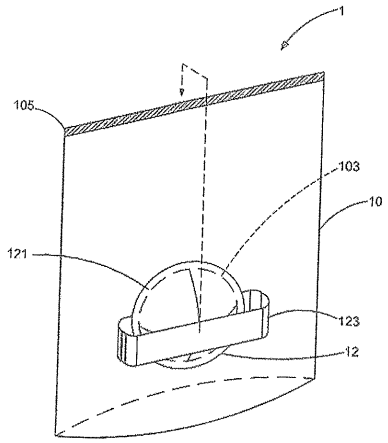
【図３Ａ】



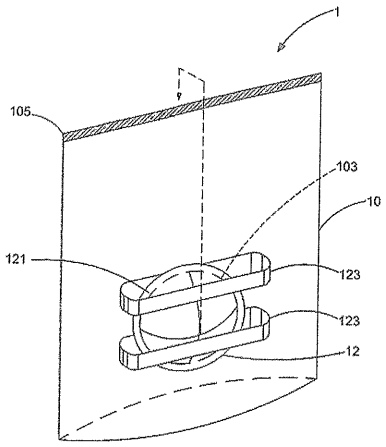
【図３Ｂ】



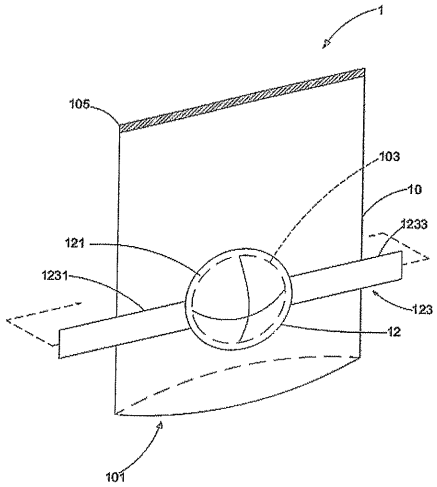
【図４Ａ】



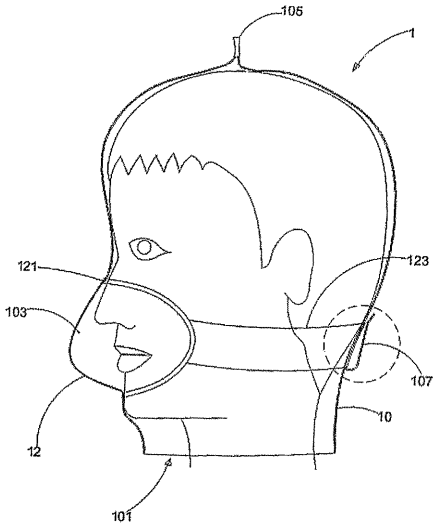
【図４Ｂ】



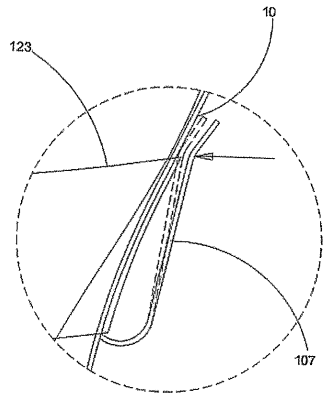
【図５】



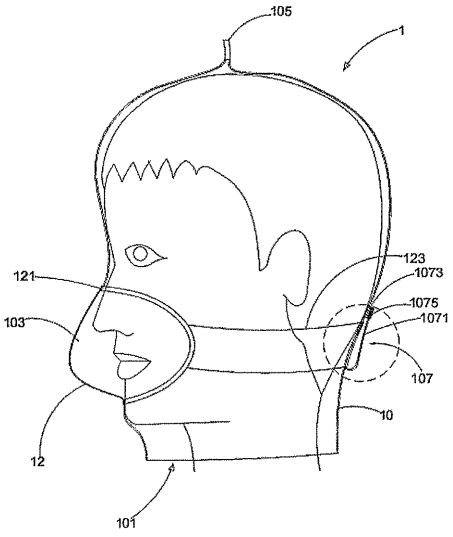
【図６Ａ】



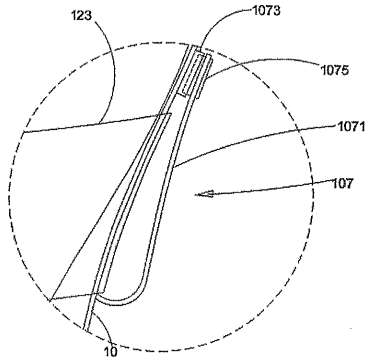
【図６Ｂ】



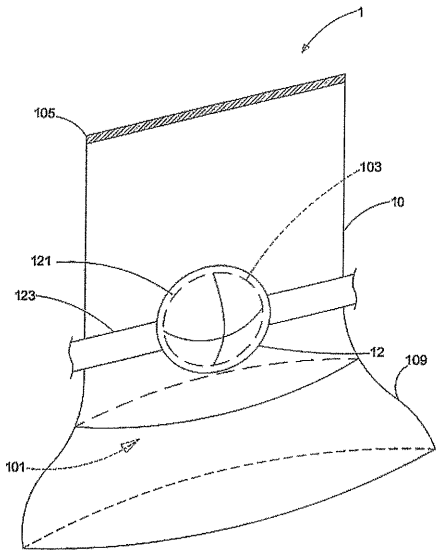
【図７Ａ】



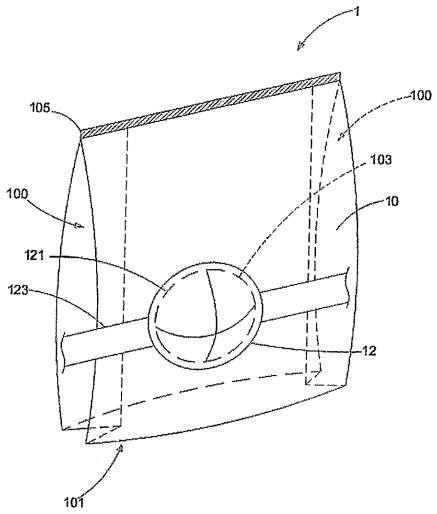
【図７Ｂ】



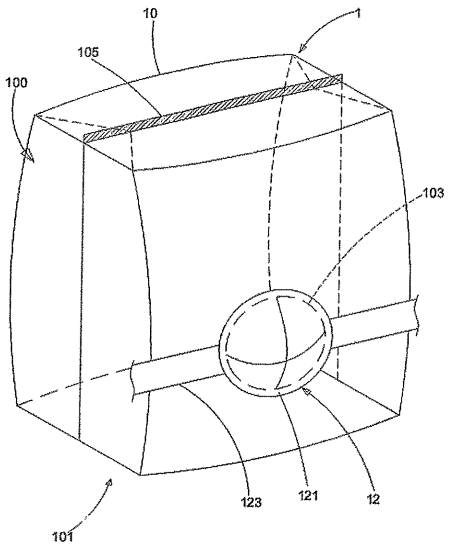
【図８】



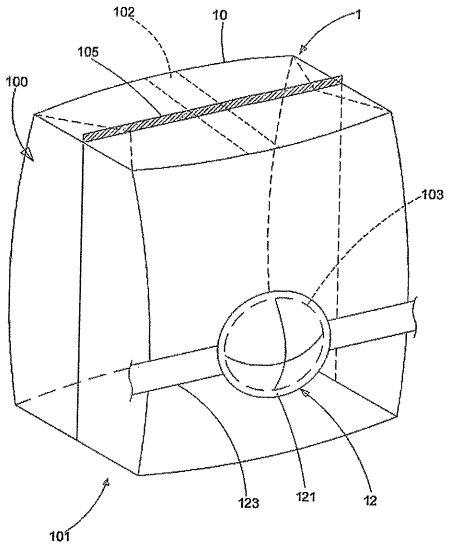
【図９Ａ】



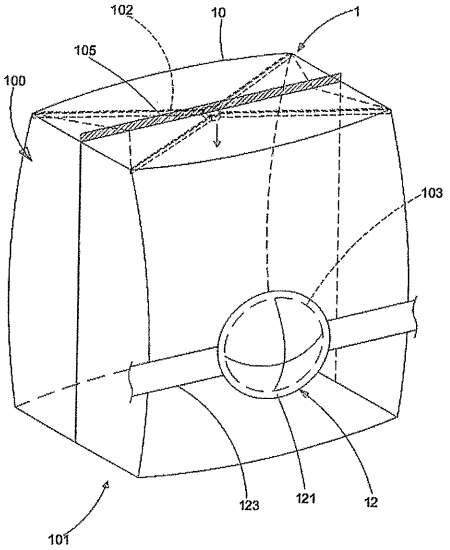
【図９Ｂ】



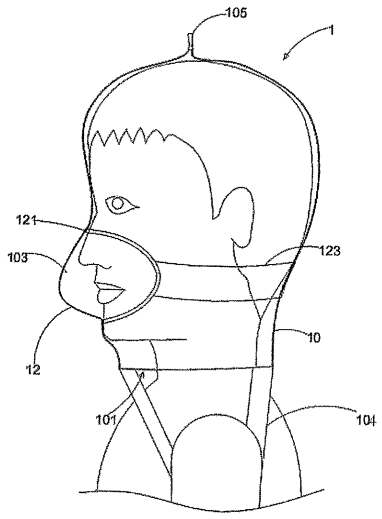
【図１０】



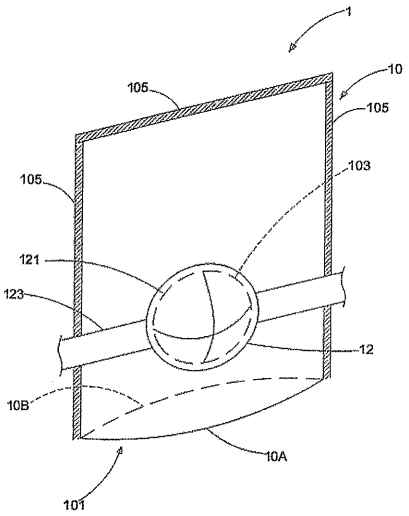
【図１１】



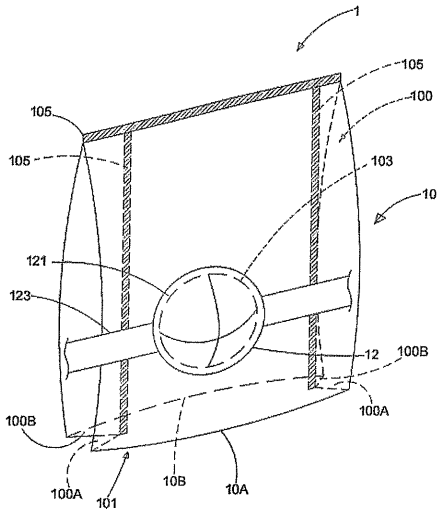
【図１２】



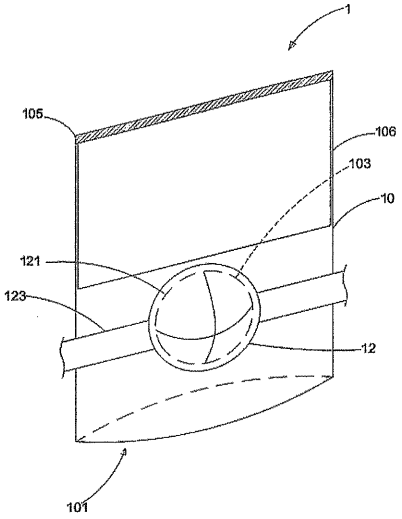
【図１３】



【図１４】


1
105
105
105
100
103
10
121
123
12
100B
100B
100A
100A
101
10B
10A

【図１５】


1
105
106
103
10
121
123
12
101

フロントページの続き

(56)参考文献 特開２００６－２８９０９３（ＪＰ，Ａ）
欧州特許出願公開第１５４３７３７（ＥＰ，Ａ２）
特開昭６１－０１６７５１（ＪＰ，Ａ）
米国特許第０５５７５００９（ＵＳ，Ａ）
国際公開第２００６／０１９４１３（WO，Ａ１）
特開２００６－２５５３４３（ＪＰ，Ａ）
中国特許出願公開第１４５４５４２（ＣＮ，Ａ）
実開昭５８－０２８６５７（ＪＰ，Ｕ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ａ６２Ｂ　１８／０８